

戦後72年目の夏  
私たちの願いは

# 「戦争をしない国」を いつまでも



戦後72年目の夏、あらためて「戦争だけはイヤだ」と思われた方も多いでしょう。

1945年8月15日に敗戦を迎えた「15年戦争」は、日本国民310万人、アジアの2000万人以上の命を奪いました。その悲しみの上に、「二度と戦争しない」と誓ったのが日本国憲法です。この平和憲法があったから、戦後ずっと、日本は「戦争しない国」を続けてきました。

ところが、「安保関連法＝戦争法」、「共謀罪」法を強行した安倍首相は、「9条」を変えようとしています。「戦争する国」をめざす安倍改憲をストップさせましょう。

## 安倍首相の「9条加憲」は、9条を壊すもの

安倍首相は、「2020年を新しい憲法を施行する年にしたい」と期限を切った「改憲」を宣言しました。憲法尊重擁護義務を負う総理大臣の改憲宣言は、憲法違反であり、許されません。

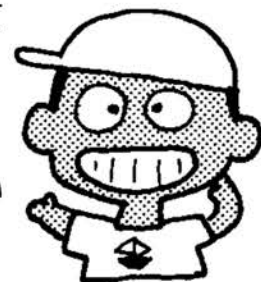
安倍首相は、憲法9条に新たに3項をつくり、「自衛隊」を「普通の国の軍隊」として、憲法に書きこもうとしています。9条によって、現在、自衛隊は「戦場」で「武力行使」をおこなうことを制限されていますが、3項を「加憲」し、その制限をなくそうというのです。これでは、9条1項・2項が死文化し、9条が壊れてしまいます。

## 政治の私物化許さない！ 「森友・加計疑獄」徹底究明を

「森友疑惑」につづいて、首相の「腹心の友」が理事長をつとめる加計学園だけに獣医学部新設が認められ、税金133億円が投入されるという「加計疑惑」。安倍首相の「ご意向」で行政が歪められてはなりません。「閉会中審査」でも疑惑は増すばかりです。

まともな調査や証人喚問なしの幕引きは許されません。内閣は、野党の臨時国会開会要求に答えるべきです。「安倍首相逃げるな！」の声が全国で沸き起こっています。「政治の私物化」を許さない国民の声が、安倍政権を追い詰めています。

徹底究明を求めましょう。



# 「安部改憲」をストップさせ 9条を守りましょう

# 被爆72年、核兵器のない世界へ大きな一歩

## 核兵器禁止条約から廃絶へ 声をあげよう

### 「核兵器は違法」が国際ルールに



1945年8月6日に広島、8月9日に長崎へ原爆が投下されてから72年が経ちました。たった一発の原爆によって、その年の終わりまでに、広島で約14万人、長崎で約7万人もの命が奪われました。

核兵器の使用は人類と文明に対する犯罪です。いま世界には約1万5000発もの核兵器があります。それをふたたび使わせないためには、法的に禁止して、一発残らずなくすしかありません。

7月7日、国連の会議で、核兵器禁止条約が122カ国の圧倒的多数の賛成で採択されました。「核兵器のない世界」の実現へ、歴史的な一歩が踏みだされたのです。

### 「ヒバクシヤ国際署名」で条約に賛成する政治を

核兵器禁止条約は、核兵器をつくったり、もったり、使ったり、使うぞと脅したりすることをすべて禁止しました。また、これらの禁じられた行為を援助し、また援助を求めるとも禁止し、自国内に核兵器を置くことに許可を与えることも禁止しました。条約の交渉に核保有国や、日本などその同盟国は参加しませんでした。しかし、禁止条約はすべての国に門戸を開き、核保有国が核兵器をもったままでも入ることも想定しています。



制作：西山道

「核兵器は違法」が国際社会のルールとなつたいま、各国政府の核兵器禁止条約への姿勢が問われます。それぞれの国民が、自国政府が条約に加わるよう、求めることが大事です。

残念なことに、被爆国日本の政府は条約に署名しないと述べています。わたしたち一人ひとりが声をあげなくてはなりません。ぜひ、「ヒバクシヤ国際署名」にご協力ください。(2017.8.6)